

X 1-7 9-11 16 20

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-063104

(43)Date of publication of application : 29.02.2000

(51)Int.Cl.

C01B 3/38  
H01M 8/06

(21)Application number : 10-228411

(71)Applicant : HONDA MOTOR CO LTD

(22)Date of filing : 12.08.1998

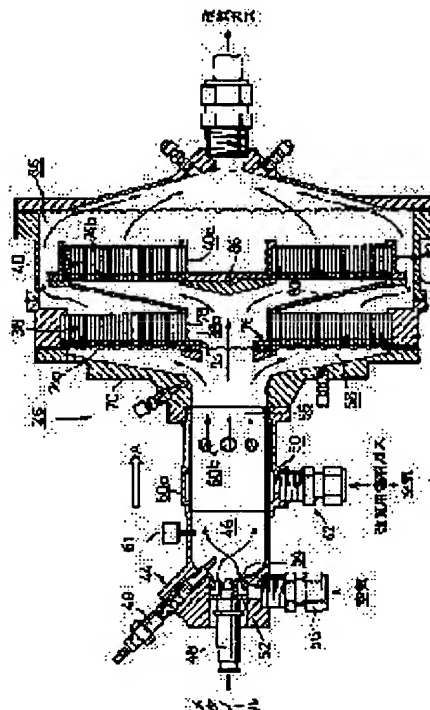
(72)Inventor : OKADA HIKARI  
IZEKI EIJI  
KOTANI YASUNORI  
SUMI HIDEAKI

## (54) FUEL REFORMING APPARATUS AND CONTROL THEREOF

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To readily perform warm air operation in starting in a short time by a simple constitution.

SOLUTION: This fuel reformer is equipped with a reforming chamber 36 arranged in first and second reforming catalyst layers 38 and 40 and a fuel mechanism 44 for starting for directly feeding combustion gas for heating to the first and second reforming catalyst layers 38 and 40. The combustion mechanism 44 is equipped with an injector 48 for feeding the fuel for heating to the combustion chamber 46 and a glow plug 49 for igniting the fuel for heating.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

27.11.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of

rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-63104

(P2000-63104A)

(43) 公開日 平成12年2月29日 (2000.2.29)

(51) IntCl<sup>7</sup>

識別記号

F I

キーワード(参考)

C 0 1 B 3/38

C 0 1 B 3/38

4 G 0 4 0

H 0 1 M 8/06

H 0 1 M 8/06

G 5 H 0 2 7

審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号

特願平10-228411

(22) 出願日

平成10年8月12日 (1998.8.12)

(71) 出願人

000005326

本田技研工業株式会社

東京都港区南青山二丁目1番1号

(72) 発明者

岡田 光

埼玉県和光市中央1-4-1 株式会社本

田技術研究所内

(72) 発明者

井関 英治

埼玉県和光市中央1-4-1 株式会社本

田技術研究所内

(74) 代理人

100077665

弁理士 千葉 剛宏 (外1名)

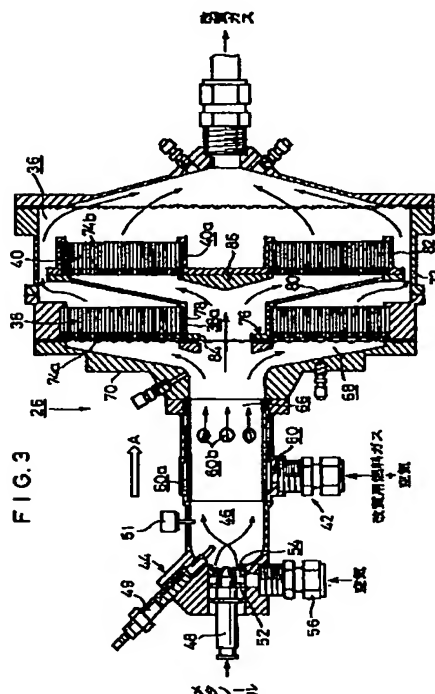
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 燃料改質装置およびその制御方法

(57) 【要約】

【課題】 簡単な構成で、始動時の暖気運転を短時間で容易に遂行することを可能にする。

【解決手段】 第1および第2改質触媒層38、40に配置される改質室36と、前記改質室36に連通する燃焼室46内で燃焼を行って、始動時に前記第1および第2改質触媒層38、40に加熱用燃焼ガスを直接供給するための始動用燃焼機構44とを備える。燃焼機構44は、燃焼室46に加熱用燃料を供給するインジェクタ48と、この加熱用燃料を着火させるグロープラグ49とを備える。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】炭化水素を含む改質用燃料を改質することにより、水素を含む改質ガスを生成する燃料改質装置であって、

改質触媒部が配置される改質室と、

前記改質室に連通する燃焼室内で燃焼を行って、前記燃料改質装置の始動時に前記改質触媒部に加熱用燃焼ガスを直接供給するための始動用燃焼機構と、

を備え、

前記始動用燃焼機構は、前記燃焼室に加熱用燃料を供給する燃料噴射手段と、

前記燃焼室に供給された前記加熱用燃料を着火させる着火用プラグと、

を備えることを特徴とする燃料改質装置。

【請求項2】請求項1記載の燃料改質装置において、前記着火用プラグに付与される電圧値および／または電流値を検出する検出手段と、

前記燃焼室の温度または圧力を検出するセンサと、

前記検出手段による検出値が設定値に達した際に前記燃料噴射手段を駆動して前記燃焼室に前記加熱用燃料を噴射させるとともに、前記センサによる検出値が設定値に達した際に前記着火用プラグへの通電を停止させる制御手段と、

を備えることを特徴とする燃料改質装置。

【請求項3】請求項1記載の燃料改質装置において、前記燃焼室の温度を検出する温度センサと、

前記着火用プラグへの通電前後における前記燃焼室の温度差が設定値に達した際に前記燃料噴射手段を駆動して前記燃焼室に前記加熱用燃料を噴射させるとともに、前記温度センサによる検出温度が設定値に達した際に前記着火用プラグへの通電を停止させる制御手段と、

を備えることを特徴とする燃料改質装置。

【請求項4】請求項1記載の燃料改質装置において、前記燃焼室の温度を検出する温度センサと、

前記着火用プラグへの通電後にタイマを作動させ、前記タイマが所定の時間だけ計時した際に前記燃料噴射手段を駆動して前記燃焼室に前記加熱用燃料を噴射させるとともに、前記温度センサによる検出温度が設定値に達した際に前記着火用プラグへの通電を停止させる制御手段と、

を備えることを特徴とする燃料改質装置。

【請求項5】請求項1記載の燃料改質装置において、前記改質室で生成された前記改質ガスを燃料電池に供給する供給路の途上に弁を介して切り換え自在に設けられ、前記改質ガスを触媒燃焼器に供給するためのバイパス流路を備えることを特徴とする燃料改質装置。

【請求項6】炭化水素を含む改質用燃料を改質することにより、水素を含む改質ガスを生成する燃料改質装置であって、

改質室に配置される改質触媒部の改質ガス出口温度を検

出する温度検出手段と、

前記改質ガス出口温度と前記改質室に導入される前記改質用燃料の供給量とに基づいて、前記改質ガス中の一酸化炭素濃度または残留炭化水素濃度を推定する制御手段と、

を備えることを特徴とする燃料改質装置。

【請求項7】炭化水素を含む改質用燃料を改質することにより、水素を含む改質ガスを生成する燃料改質装置の制御方法であって、

前記燃料改質装置の始動時に、改質室に配置された改質触媒部に加熱用燃焼ガスを直接供給して前記改質触媒部の温度を上昇させる工程と、

前記改質触媒部を所定温度に加熱するとともに、前記改質触媒部で生成される前記改質ガスを燃焼器に供給して蒸発器を加熱する工程と、

前記蒸発器が所定の温度に達した際、該蒸発器に前記改質用燃料および水を導入して前記改質触媒部に前記改質用燃料、水蒸気および酸素を供給することにより、酸化反応と改質反応とを同時に行わせて前記改質ガスを生成する工程と、

前記改質触媒部で生成される前記改質ガス中の一酸化炭素濃度を検出する工程と、

前記検出された前記一酸化炭素濃度が所定値以下になった際、前記改質ガスを燃料電池に供給する工程と、

を有することを特徴とする燃料改質装置の制御方法。

【請求項8】請求項7記載の制御方法において、前記改質室に連通する燃焼室内で燃焼を行って、始動時に前記改質触媒部に前記加熱用燃焼ガスを直接供給することを特徴とする燃料改質装置の制御方法。

【請求項9】改質室に配置された改質触媒部に炭化水素を含む改質用燃料を供給し、この改質用燃料を改質することにより、水素を含む改質ガスを生成する燃料改質装置の制御方法であって、

前記燃料改質装置の始動信号に基づいて、前記改質室に連通する燃焼室に配置された着火用プラグに通電する工程と、

前記着火用プラグに付与される電圧値および／または電流値を検出する工程と、

前記燃焼室の温度または圧力を検出する工程と、

検出された前記電圧値および／または前記電流値が設定値に達した際、前記燃焼室に前記加熱用燃料を噴射させる工程と、

検出された前記温度または前記圧力が設定値に達した際、前記着火用プラグへの通電を停止させる工程と、

を有することを特徴とする燃料改質装置の制御方法。

【請求項10】改質室に配置された改質触媒部に炭化水素を含む改質用燃料を供給し、この改質用燃料を改質することにより、水素を含む改質ガスを生成する燃料改質装置の制御方法であって、

前記燃料改質装置の始動信号に基づいて、前記改質室に

連通する燃焼室の温度を検出する工程と、  
前記燃焼室に配置された着火用プラグに通電する工程と、  
前記着火用プラグへの通電前後における前記燃焼室の温度差を検出する工程と、  
前記燃焼室の温度差が設定値に達した際、前記燃焼室に加熱用燃料を噴射させる工程と、  
前記燃焼室の温度が設定値に達した際、前記着火用プラグへの通電を停止させる工程と、  
を有することを特徴とする燃料改質装置の制御方法。

【請求項11】改質室に配置された改質触媒部に炭化水素を含む改質用燃料を供給し、この改質用燃料を改質することにより、水素を含む改質ガスを生成する燃料改質装置の制御方法であって、  
前記燃料改質装置の始動信号に基づいて、前記改質室に連通する燃焼室に配置された着火用プラグに通電する工程と、  
前記燃焼室の温度を検出する工程と、  
前記着火用プラグへの通電後にタイマを作動させる工程と、  
前記タイマが所定の時間だけ計時した際、前記燃焼室に加熱用燃料を噴射させる工程と、  
前記燃焼室の温度が設定値に達した際、前記着火用プラグへの通電を停止させる工程と、  
を有することを特徴とする燃料改質装置の制御方法。

【請求項12】炭化水素を含む改質用燃料を改質することにより、水素を含む改質ガスを生成する燃料改質装置の制御方法であって、  
改質室に配置される改質触媒部の改質ガス出口温度を検出する工程と、  
前記改質ガス出口温度と前記改質室に導入される前記改質用燃料の供給量とに基づいて、前記改質ガス中の一酸化炭素濃度または残留炭化水素濃度を推定する工程と、  
を有することを特徴とする燃料改質装置の制御方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、炭化水素を含む改質用燃料を改質することにより、水素を含む改質ガスを生成する燃料改質装置およびその制御方法に関する。

【0002】

【従来の技術】電解質、例えば、固体高分子電解質膜を挟んでアノード側電極とカソード側電極とを対設した燃料電池セルを、セパレータによって挟持して複数積層することにより構成された燃料電池スタックが開発され、種々の用途に実用化されつつある。

【0003】この種の燃料電池スタックは、炭化水素、例えば、メタノール水溶液の水蒸気改質により生成された水素を含む改質ガス（燃料ガス）をアノード側電極に供給するとともに、酸化剤ガス（空気）をカソード側電極に供給することにより、前記水素ガスがイオン化して

固体高分子電解質膜内を流れ、これにより燃料電池の外部に電気エネルギーが得られるように構成されている。

【0004】ところで、メタノール水溶液を改質して改質ガスを生成する燃料改質装置では、始動時から暖気過程で生成される改質ガス成分中に、一酸化炭素（CO）および未反応炭化水素成分が混在している。このCOを混在した改質ガスが燃料電池スタックに供給されると、アノード側電極において触媒のCO中毒を招いてしまう。

10 【0005】そこで、上記の不具合を解消するために、例えば、特開平8-293312号公報に開示されている燃料電池システムが知られている。この従来技術では、燃料電池が始動時にある場合、温度センサおよびCOセンサの検出温度と検出CO濃度のいずれかがこの燃料電池が定常状態にあるときの許容温度範囲または許容CO濃度を逸脱していれば、流路切り換えバルブにより、改質装置からの水素リッチガスの供給先を該燃料電池からバーナに切り換えて高濃度のCOを含有する水素リッチガスを燃料電池に供給しないように構成されている。

20 【0006】

【発明が解決しようとする課題】ところが、上記の従来技術では、改質装置内にメタノールと水とが供給され、このメタノールを水蒸気改質することによって水素ガスを含む改質ガスを生成している。この水蒸気改質反応は吸熱反応であり、改質装置には、メタノールの改質反応に適した温度にこの改質装置を加熱するためのバーナが備えられている。

30 【0007】しかしながら、バーナにより改質装置を所定温度（例えば、約250℃～300℃）に加熱しているため、前記改質装置を改質反応に適した温度まで加熱する暖気運転に相当に長時間を要するという問題が指摘されている。

【0008】本発明はこの種の問題を解決するものであり、簡単な構成で、暖気運転時間を一挙に短縮することが可能な燃料改質装置およびその制御方法を提供することを目的とする。

40 【0009】また、本発明は、暖気運転を効率的かつ経済的に行うことが可能な燃料改質装置およびその制御方法を提供することを目的とする。

【0010】さらにまた、本発明は、簡単かつ安価な構成で、改質触媒部における反応状態を確実に検出することが可能な燃料改質装置およびその制御方法を提供することを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明に係る燃料改質装置では、始動用燃焼機構が、燃焼室に加熱用燃料を供給する燃料噴射手段と、この燃焼室に供給された前記加熱用燃料を着火させる着火用プラグとを備えており、前記燃焼室内で燃焼が行われて燃料改質装置の始動時に前記

燃焼室に連通する改質室に配置されている改質触媒部に加熱用燃焼ガスが直接供給される。このため、改質触媒部の温度を改質用燃料の改質反応に適した温度に短時間で確実に加熱することができ、暖気運転時間が一挙に短縮化される。

【0012】また、本発明に係る燃料改質装置の制御方法では、燃料改質装置の始動後に改質室に配置された改質触媒部に加熱用燃焼ガスが直接供給され、この改質触媒部が所定温度に加熱される。その際、改質触媒部で生成される改質ガスが燃焼器に供給され、この燃焼器を介して蒸発器が加熱される。

【0013】蒸発器が所定の温度に達した際、この蒸発器に改質用燃料および水が供給されて改質触媒部に前記改質用燃料、水蒸気および酸素を含有するガス、例えば、空気が供給され、該改質触媒部で酸化反応と改質反応とが同時に行われる。いわゆる、オートサーマル方式であり、具体的には、 $\text{CH}_3\text{OH} + 3/2\text{O}_2 \rightarrow \text{CO}_2 + 2\text{H}_2\text{O}$ （発熱反応）と、 $\text{CH}_3\text{OH} + \text{H}_2\text{O} \rightarrow \text{CO}_2 + 3\text{H}_2$ （吸熱反応）とが同時に遂行され、改質器内に複雑な伝熱構造が不要になり、装置全体の構成が簡素化されるとともに、迅速な暖気工程が遂行される。

【0014】次いで、改質触媒部で生成される改質ガス中の一酸化炭素濃度が検出され、この一酸化炭素濃度が所定値以下になった際、改質ガスが燃料電池に供給される。従って、各種の改質ガス分析センサ等が不要になり、一酸化炭素濃度センサのみを用いて暖気運転が完了したことを正確に推定することができ、低コスト化および信頼性の向上が容易に図られる。ここで、改質室に連通する燃焼室内で燃焼を行って加熱用燃焼ガスを改質触媒部に直接供給することにより、構成の簡素化と暖気運転時間の短縮化が可能になる。

【0015】さらにまた、本発明に係る燃料改質装置およびその制御方法では、始動信号に基づいて改質室に連通する燃焼室に配置された着火用プラグに通電が開始され、このプラグに付与される電圧値および/または電流値が所定値に達した際、前記燃焼室に加熱用燃料を噴射させる。このため、プラグ温度が着火用の温度に到達した時点で加熱用燃料を噴射することができ、着火の確実性を確保することが可能になる。一方、燃焼室の温度または圧力が所定値に達した際、プラグへの通電を停止させる。これにより、電力消費量を有効に削減するとともに、プラグの耐久熱を有効に向上させることができる。

【0016】また、プラグへの通電前後における燃焼室の温度差を検出し、この温度差が設定値に達した際、前記燃焼室に加熱用燃料を噴射させる工程、あるいは、プラグへの通電後にタイマを作動させ、このタイマが所定の時間だけ計時した際、前記燃焼室に加熱用燃料を噴射させる工程を有する。このため、着火の確実性を確保するとともに、消費電力の削減が有効に可能になる。

【0017】さらにまた、本発明に係る燃料改質装置お

よびその制御方法では、改質室に配置される改質触媒部の改質ガス出口温度と、この改質室に導入される改質用燃料の供給量とに基づいて、前記改質触媒部で生成される改質ガス中の一酸化炭素濃度または残留炭化水素濃度が推定される。これにより、CO濃度検出部やメタノール濃度検出部が不要になり、簡単かつ安価な構成で、改質触媒部での反応状態が確実に把握され、所望の改質ガスを燃料電池に供給することができる。

【0018】

10 【発明の実施の形態】図1は、本発明の第1の実施形態に係る燃料改質装置10を組み込む燃料電池システム12の概略構成説明図である。燃料電池システム12は、炭化水素を含む改質用燃料を改質することにより水素ガスを生成する燃料改質装置10と、この燃料改質装置10から改質ガスが供給されるとともに、酸化剤ガスとしての空気が供給され、前記改質ガス中の水素ガスと前記空気中の酸素とにより発電を行う燃料電池スタック14とを備える。炭化水素としては、メタノール、天然ガスまたはメタン等が使用可能である。

20 【0019】燃料改質装置10は、炭化水素、例えば、メタノールを貯留するメタノールタンク16と、燃料電池スタック14から排出される生成水等を貯留する水タンク18と、前記メタノールタンク16および前記水タンク18からそれぞれ所定量のメタノールおよび水が供給されてメタノール水溶液を混合する混合器20と、前記混合器20から供給されるメタノール水溶液を蒸発させるための蒸発器22と、前記蒸発器22に蒸発熱を供給する触媒燃焼器24と、前記蒸発器22から導入される水蒸気が混合されたメタノール（以下、改質用燃料ガスという）を改質して水素ガスを含む改質ガスを生成する改質器26と、この改質器26から導出される改質ガス中の一酸化炭素を除去するCO除去器28とを備える。

40 【0020】触媒燃焼器24とCO除去器28とには、空気供給器30からそれぞれ空気が供給されるとともに、改質器26と前記CO除去器28との間には、改質ガスの温度を低下させるための熱交換器32が配置されている。蒸発器22と改質器26と熱交換器32とCO除去器28と触媒燃焼器24とは、管体34を介して連結され、循環流路を構成している（図2参照）。

【0021】図3に示すように、改質器26は、改質室36に配置される第1および第2改質触媒層38、40と、前記改質室36に改質用燃料ガスおよび酸素含有ガス、例えば、空気を供給して前記第1および第2改質触媒層38、40で酸化反応と改質反応とを同時に行わせるための供給機構42と、前記第1および第2改質触媒層38、40の上流側に配置され、始動時に該第1および第2改質触媒層38、40に加熱用燃焼ガスを直接供給するための始動用燃焼機構44とを備える。

50 【0022】図2および図3に示すように、燃焼機構4

4は、改質器26にガス流れ方向（矢印A方向）の上流側に対応しかつ第1および第2改質触媒層38、40と同心的に設けられており、この燃焼機構44は燃焼室46に燃料、例えば、メタノールを供給するためのインジェクタ（燃料噴射手段）48と、着火用プラグ、例えば、グロープラグ49と、前記燃焼室46内の温度（または圧力）を検出する温度センサ（または圧力センサ）51とを備える。このインジェクタ48は、燃料経路50を介してメタノールタンク16に接続されている（図1参照）。

【0023】インジェクタ48の先端側周囲には、図3に示すように、空気ノズル52が装着され、この空気ノズル52は、燃焼室46に向かって開口する複数の空気導出口54を設けている。空気導出口54は、燃焼室46内で渦流を発生させるようにそれぞれの噴射方向および角度が設定されている。空気ノズル52は、第1空気経路56を介して空気供給器58または空気供給器30に接続されている（図1参照）。

【0024】供給機構42は、図2および図3に示すように、燃焼機構44の下流側に配置されており、インジェクタ48の下流でかつ第1改質触媒層38の上流に位置して改質用燃料ガスと酸化用および希釈用空気とが混合または独立して供給される供給口60を設けている。供給口60は、経路34aを介して蒸発器22に連結されるとともに、この経路34aの途上に設けられたジョイント部62は、例えば、空気供給器30に第2空気経路64を介して連通している。供給口60は、二重壁内の室60aを介して複数の導入口60bから流路室66に連通する。

【0025】改質器26は、燃焼室46に連通する流路室66から第1改質触媒層38に向かって拡張する円錐形状のガス供給流路68を形成するディフューザ部70を備える。ディフューザ部70の拡張する端部には、略円筒形状のケース72がねじ止めされており、このケース72内に第1および第2改質触媒層38、40が装着される。

【0026】第1および第2改質触媒層38、40は、銅または亜鉛系触媒で構成されており、ドーナツ形状のハニカム構造に設定されている。各ハニカム触媒のそれぞれの面方向は改質室36内のガス流れ方向（矢印A方向）に直交して並列されている。第1および第2改質触媒層38、40のガス流れ方向の上流側に第1および第2整流板74a、74bが固定される。

【0027】第1および第2改質触媒層38、40の間には、改質用燃料ガスがいずれか一方のみを通過するようにガス流路形成手段76が配置される。ガス流路形成手段76は、例えば、SUS製の板材で構成されており、第1改質触媒層38の中央空洞部分38aに挿入される筒状部78と、この筒状部78の端部からガス流れ方向に沿って拡張する円錐部80と、この円錐部80の

端部に一体的に設けられ、第2改質触媒層40の外周を覆うリング部82とを有する。筒状部78の先端は、ガス流れ方向とは逆方向に向かって縮径する絞形形状部84がねじ止め固定されている。第2改質触媒層40の中央空洞部分40aには、円錐形状のカバー部材86が装着されている。

【0028】図2に示すように、管体34を構成し触媒燃焼器24とCO除去器28とにそれぞれ接続される経路34b、34cのジョイント部88には、三方弁90が設けられており、この三方弁90は、前記経路34bと燃料電池スタック14とを連通する位置と、該経路34bと経路34cとを連通する位置とに切り換え自在である。この経路34cには、燃料電池スタック14から排出される排出成分中の未反応水素ガス等のガスを導入するための切り換え弁92が配置されている。

【0029】図4に示すように、燃料電池システム12を制御するECU等の制御手段100には、グロープラグ49に付与される電圧値および/または電流値を検出する電圧/電流モニタ（検出手段）102が接続される。制御手段100には、グロープラグ49への通電をON/OFFするためのスイッチ104が接続される。

【0030】図5に示すように、制御手段100には、蒸発器22に供給されるメタノール水溶液の供給量を調整するための燃料供給弁106と、供給機構42に供給される酸化用空気の供給量を調整するための第1空気供給弁108と、CO除去器28に供給される空気の供給量を調整するための第2空気供給弁110とが接続される。

【0031】流路室66に第1温度センサ112が配置され、改質室36内の第1および第2改質触媒層38、40の上流側（ガス入口側）の端面から所定距離Sだけ内方に位置して触媒ピーク温度検出用の第2温度センサ114が設けられる。この第1および第2改質触媒層38、40の下流側（改質ガス出口側）の端部には、改質ガス出口温度を検出する第3温度センサ116が設けられる。第1乃至第3温度センサ112、114および116は、制御手段100にそれぞれの検出温度を入力している。制御手段100には、蒸発器22の温度を検出する第4温度センサ118と、CO除去器28から導出される改質ガス中のCO濃度を検出するCOセンサ120とが接続されている。

【0032】このように構成される燃料改質装置10の動作について、本発明の第1の実施形態に係る制御方法との関連で、図6の(a)～(c)に示すタイムチャートおよび図7に示すフローチャートに基づいて、以下に説明する。

【0033】まず、燃料改質装置10の始動時には、始動暖気モード（ステップS1）として管体34の経路34b、34cが燃料電池スタック14と遮断状態にある。そこで、燃焼機構44を構成する第1空気経路56



から空気ノズル52を介して燃焼室46に空気(1次空気)が供給され、この燃焼室46内に渦流が形成される。この状態で、グロープラグ49に通電され(図8中、ステップS11)、電圧/電流モニタ102によりこのグロープラグ49の電流値がモニタされる(ステップS12)。

【0034】ここで、モニタされた電流値が、供給された電圧に対して最大電流値の±5%〜±10%に達したことが制御手段100により演算されると(ステップS13中、YES)、インジェクタ48を介してメタノールタンク16内のメタノールが燃焼室46内に噴射される(ステップS14)。メタノールは、インジェクタ48を介して燃焼室46内に噴霧されるとともに、このメタノールに空気による渦流が作用して、前記メタノールの微粒化および拡散化が図られる。このため、燃焼室46内では、グロープラグ49の加熱作用下にメタノールが燃焼し、この燃焼室46内でのみ保炎がなされる。

【0035】次いで、第2空気経路64から各導入口60bを介して流路室66に保炎用空気(2次空気)が導入される。従って、燃焼室46で生成される高温の燃焼ガスに空気が混合され、この燃焼ガスの温度が調整された状態で、前記燃料ガスが改質室36に配置されている第1および第2改質触媒層38、40に直接供給される。

【0036】一方、燃焼室46の温度が温度センサ51により検出されており、この燃焼室46内の温度が設定値に達すると(ステップS14中、YES)、ステップS15に進んでスイッチ104が作動され、グロープラグ49の通電が停止される。これにより、始動暖気ルーチンが終了する。

【0037】さらに、インジェクタ48から燃焼室46内に噴霧されるメタノールの量が増加されるとともに、前記燃焼室46内での燃焼により発生した水とこのメタノールと第2空気経路64から導入される空気とにより、第1および第2改質触媒層38、40で酸化反応と改質反応とが同時に行われる(ステップS2)。具体的には、 $\text{CH}_3\text{OH} + 3/2\text{O}_2 \rightarrow \text{CO}_2 + 2\text{H}_2\text{O}$ (発熱反応)と、 $\text{CH}_3\text{OH} + \text{H}_2\text{O} \rightarrow \text{CO}_2 + 3\text{H}_2$ (吸熱反応)とが同時に遂行され、水素を含む改質ガスが第1および第2改質触媒層38、40から生成される。

【0038】この改質ガスは、改質器26からCO除去器28を通して触媒燃焼器24に送られて燃料として利用され、蒸発器22を加熱する(ステップS3)。次に、ステップS4に進んで、第4温度センサ118により蒸発器22の温度が設定温度に達したことが検出されると、混合器20を介してメタノールと水が所定の混合比で混合されたメタノール水溶液が蒸発器22に供給される。

【0039】蒸発器22では、触媒燃焼器24を介してメタノール水溶液が蒸気化し、第2空気経路64から送

られる空気と混合されて供給機構42を構成する各導入口60bから改質器26内に供給される一方、インジェクタ48から燃焼室46内へのメタノールの供給が停止される。ここで、第1空気経路56から空気ノズル52を介して燃焼室46側に空気が継続して供給されており、インジェクタ48自体の温度を有効に低減している。

【0040】蒸発器22から経路34aに供給された改質用燃料ガスは、第2空気経路64から噴射される空気と混合して改質器26内に導入された後、ディフューザ部70側に送られる。このディフューザ部70では、メタノール水溶液、水蒸気および酸素を含む改質用燃料ガスがその一部をガス供給流路68に沿って第1改質触媒層38に送られる一方、他の部分がこの第1改質触媒層38の中央空洞部分38aに挿入された円筒部78の内部を通して第2改質触媒層40に送られる(ステップS5)。

【0041】第1および第2改質触媒層38、40では、改質用燃料ガス中のメタノール、水蒸気および酸素によって発熱反応である酸化反応と吸熱反応である燃料改質反応とが同時に行われる。これにより、改質器26内に複雑な伝熱構造を用いる必要がなく、この改質器26全体の構造を一挙に簡素化することができる。しかも、改質器26内の発熱反応によって改質反応に必要な熱が供給されるため、負荷変動に対する応答性がよく、水素ガスを含む改質ガスを効率的に生成することが可能になる。

【0042】第1改質触媒層38を通して生成された改質ガスおよび第2改質触媒層40を通して生成された改質ガスは、熱交換器32に導入されて所定の温度に冷却される。次いで、改質ガスは、CO除去器28に導入されてこの前記改質ガス中のCOが選択的に反応除去された後、COセンサ120を介して前記改質ガス中のCO濃度が測定される。そして、測定されたCO濃度が所定値以下であると判断されると(ステップS6中、YES)、ステップS7に進んで三方弁90が入れ替えられて、前記改質ガスが燃料電池スタック14に供給される。

【0043】この場合、第1の実施形態では、改質室36に燃焼室46が連通しており、この燃焼室46に加熱用燃料としてメタノールが噴射されるとともに、グロープラグ49に通電されて前記燃焼室46内で前記メタノールが燃焼する。この燃焼により生成される燃焼ガスが、改質室36内の第1および第2改質触媒層38、40に直接供給されるため、前記第1および第2改質触媒層38、40が迅速に加熱され、燃料改質装置10の始動時における暖気運転が極めて短時間で遂行されるという効果が得られる。

【0044】さらに、第1の実施形態では、燃焼室46で生成される燃焼ガスにより第1および第2改質触媒層



38、40が所定温度に達した後、この第1および第2改質触媒層38、40から生成される改質ガスが触媒燃焼器24に供給され、蒸発器22を加熱する燃料として使用される。このため、燃料を効率的に使用するとともに、暖気運転が一層短時間で遂行されることになる。

【0045】また、第1および第2改質触媒層38、40および蒸発器22が所定の温度に達した後、改質用燃料が供給されて改質ガスが生成される。そして、改質ガス中のCO濃度が所定値以下となった際に、前記改質ガスが燃料電池スタック14に供給される。従って、所望の改質ガスが生成されたことを、簡単な構成で確実に判断することができ、燃料改質装置10全体の暖気運転を含む準備作業が一挙に効率的に遂行され、燃料電池スタック14による発電作業が効率的に行われるという効果が得られる。

【0046】また、第1の実施形態では、始動暖気運転においてグロープラグ49に通電された後、電圧/電流モニタ102を介して前記グロープラグ49の電流値がモニタされる。そこで、グロープラグ49が着火可能な温度に至った際、インジェクタ48から燃焼室46に燃料であるメタノールが噴射される。このため、燃焼室46内における着火の確実性を確保することができるという利点がある。

【0047】しかも、温度センサ51を介して燃焼室46内の温度が自己発炎が可能な温度になったことが検出された際、グロープラグ49の通電が停止される。これにより、着火後におけるグロープラグ49の自己発熱を中止し、前記グロープラグ49の耐久熱を有効に向上させて長期間にわたり使用することが可能になるという効果が得られる。

【0048】図9は、本発明の第2の実施形態に係る制御方法を説明する始動暖気ルーチンのフローチャートである。

【0049】この第2の実施形態では、始動信号に基づいて温度センサ51が燃焼室46の温度を検出しながら（ステップS21）、グロープラグ49に通電が行われる（ステップS22）。制御手段100は、温度センサ51による燃焼室46内の温度をモニタし、グロープラグ49への通電前後における前記燃焼室46の温度差 $\Delta T$ を算出する。

【0050】この温度差 $\Delta T$ が所定温度以上、例えば、50℃以上であると判断されると（ステップS23中、YES）、ステップS24に進んで、インジェクタ48から燃焼室46に燃料であるメタノールが噴射される。そして、燃焼室46内の温度が設定温度に至る際（ステップS25中、YES）、グロープラグ49の通電が停止される（ステップS26）。

【0051】このように、第2の実施形態では、グロープラグ49の通電前後における燃焼室46内の温度差 $\Delta T$ を演算し、この温度差 $\Delta T$ が設定温度以上となった

際、すなわち、着火可能な温度になった際、インジェクタ48から前記燃焼室46にメタノールを噴射している。従って、燃焼室46内での着火の確実性を確保することができる等、第1の実施形態と同様の効果が得られる。

【0052】図10は、本発明の第3の実施形態に係る制御方法を実施する始動暖気ルーチンのフローチャートである。

【0053】この第3の実施形態では、グロープラグ49に通電した後（ステップS31）、制御手段100のタイマの計時が開始される（ステップS32）。そして、タイマが所定の時間だけ計時した後（ステップS33中、YES）、燃焼室46内にインジェクタ48を介してメタノールが噴射される（ステップS34）。さらに、燃焼室46内の温度が設定温度以上となった際（ステップS35中、YES）、ステップST36に進んでグロープラグ49の通電が停止される。

【0054】このように、第3の実施形態では、グロープラグ49に通電された後、環境条件等に基づいて制御手段100により演算して予め設定された時間が経過した後、燃料であるメタノールが燃焼室46に噴射される。このため、第1および第2の実施形態と同様に、燃焼室46内における着火の確実性が確保されるという効果が得られる。

【0055】次に、図5を参照して、本発明の第4の実施形態に係る制御方法について説明する。

【0056】この第4の実施形態では、COセンサ120を用いることがなく、改質器26内の温度、特に第3温度センサ116により検出される触媒層の改質ガス出口温度と、この改質器26に供給される改質用燃料ガスの供給量とから改質ガス中のCO濃度または残留メタノール濃度を推定するものである。

【0057】ここで、制御手段100には、予め、図11、図12および図13に示す条件がマップとして記録されている。図11では、改質用燃料ガスの供給量とメタノール反応率との関係が、改質ガス出口温度T1、T2およびT3（ $T1 < T2 < T3$ ）について示されている。図12には、改質用燃料ガスの供給量とCO濃度との関係が、それぞれの改質ガス出口温度T1、T2およびT3毎に示されている。さらに、図13には、改質用燃料ガスの供給量と残留メタノール濃度との関係が改質ガス出口温度T1、T2およびT3毎に示されている。

【0058】そこで、第4の実施形態では、図5に示すように、制御手段100が燃料供給弁106を制御して蒸発器22に供給されるメタノール水溶液の供給量が設定されるとともに、第1空気供給弁108を駆動して酸化用空気の供給量が設定される。これにより、改質器26内には、それぞれ所定量の改質用燃料ガスおよび酸化用空気が導入され、第1および第2改質触媒層38、40を介して改質ガスが生成される。

【0059】第1および第2改質触媒層38、40では、メタノール水溶液、水蒸気および酸素が供給されることにより、酸化反応と改質反応とが同時に行われ、いわゆる、オートサーマルによる反応が遂行される。このため、制御手段100には、第1温度センサ112を介して改質用燃料ガスの温度が入力され、第2温度センサ114を介して触媒ピーク温度が入力され、さらに、第3温度センサ116を介して改質ガス出口温度が入力される。

【0060】制御手段100では、予め設定された改質用燃料ガスの供給量と、第3温度センサ116により検出される改質ガス出口温度とに基づいて、CO濃度（または残留メタノール濃度）が推定される。そして、このCO濃度に基づいて、CO除去器28に供給する空気が第2空気供給弁110により調整される。

【0061】このように、第4の実施形態では、COセンサ等の各種センサを用いることがなく、改質器26に供給される改質用燃料ガスの供給量と、この改質器26内での改質ガス出口温度とに基づいて、改質ガス中のCO濃度（または残留メタノール濃度）が推定される。これにより、高価なセンサ類を不要にし、改質反応の状態を経済的かつ正確に把握することができ、所望の改質ガスを燃料電池スタック14に確実に供給することができるという効果が得られる。

【0062】ところで、第1および第2改質触媒層38、40は、継続的に使用することにより性能劣化が惹起される場合がある。このため、制御手段100では、触媒精度が劣化した第1および第2改質触媒層38、40での改質ガス出口温度を補正する処理がなされる。すなわち、図14に示すように、触媒層の入口温度を一定にし、基本の温度分布（イ）と触媒性能が劣化した場合の温度分布（ロ）とを比較すると、触媒性能の劣化に伴って反応量が減少するため、温度分布（ロ）では、吸熱量が減少して反応ガス出口温度が高くなっている。

【0063】従って、改質用燃料ガスの供給量、触媒入口温度、供給空気量および改質ガス出口温度に基づいて、劣化の程度が確実に推定され、この結果に基づいて第1および第2改質触媒層38、40の劣化量が判断される。これにより、劣化量と温度の関係に予め相関を取ることができ、改質ガス中のCO濃度（または残留メタノール濃度）を劣化の程度に応じて正確に検出することができるという利点がある。

#### 【0064】

【発明の効果】本発明に係る燃料改質装置では、始動用燃焼機構が、燃焼室に加熱用燃料を供給する燃料噴射手段と、この加熱用燃料を着火させる着火用プラグとを備え、前記燃焼室内で燃焼を行って、始動時に該燃焼室に連通する改質室に配置されている改質触媒部に燃焼ガスを直接供給する。このため、改質触媒部の加熱を迅速かつ容易に行うことができ、始動時の暖気運転が一挙に短

時間で遂行される。

【0065】また、本発明に係る燃料改質装置の制御方法では、改質触媒部に加熱媒体を供給してこの改質触媒部を昇温させるとともに、生成された改質ガスを燃焼器に供給して蒸発器を加熱し、改質用燃料、水蒸気および酸素を介して酸化反応と改質反応とを同時に行わせる。次いで、改質触媒部で生成される改質ガス中の一酸化炭素濃度を検出し、この一酸化炭素濃度を所定値以下となった際に、前記改質ガスを燃料電池に供給する。このため、所望の改質ガスを効率的かつ確実に得ることができるとともに、始動時の暖気運転時間を有効に短縮することが可能になる。

【0066】さらにまた、本発明に係る燃料改質装置およびその制御方法では、始動時に燃焼室に配置された着火用プラグに通電した後、この着火用プラグが最適温度に至ったことを検出した時点で、この燃焼室に加熱用燃料を噴射する一方、前記燃焼室内が所定の温度に至ったことを検出した時点で、前記着火用プラグへの通電を停止させる。従って、燃焼室内での着火の確実性を確保するとともに、着火用プラグの耐久熱を有効に向上させることができる。

【0067】さらに、本発明に係る燃料改質装置の制御方法では、改質室に配置される改質触媒部の改質ガス出口温度と、前記改質室に導入される改質用燃料の供給量とに基づいて、前記改質ガス中の一酸化炭素濃度または残留炭化水素濃度が推定される。これにより、各種センサが不要になって、簡単かつ経済的な構成で、改質ガス中の成分を確実に推定して所望の改質ガスを得ることが可能になる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施形態に係る燃料改質装置を組み込む燃料電池システムの概略構成説明図である。

【図2】前記燃料改質装置の斜視説明図である。

【図3】前記燃料改質装置を構成する改質器の縦断面説明図である。

【図4】前記改質器に連結される燃焼機構の説明図である。

【図5】前記改質器に組み込まれる各種センサの説明図である。

【図6】第1の実施形態に係る制御方法を説明するタイミングチャートである。

【図7】前記第1の実施形態に係る制御方法を説明するフローチャートである。

【図8】図7中、始動暖気ルーチンのフローチャートである。

【図9】本発明の第2の実施形態に係る制御方法を説明する始動暖気ルーチンのフローチャートである。

【図10】本発明の第3の実施形態に係る制御方法を実施する始動暖気ルーチンのフローチャートである。

【図11】改質用燃料ガスの供給量とメタノール反応率

15

16

との関係を示す図である。

【図12】改質用燃料ガスと使用濃度との関係を示す図である。

【図13】改質用燃料ガスと残留メタノール濃度との関係を示す図である。

【図14】触媒性能の劣化を説明する触媒層と温度との関係を示す図である。

【符号の説明】

10…燃料改質装置システム

16…メタノール

20…混合器

24…触媒燃焼器

28…CO除去器

…経路

12…燃料電池

18…水タンク

22…蒸発器

26…改質器

34b、34c

38、40…改質触媒層

44…燃焼機構

48…インジェクタ

ラグ

51…温度センサ

ル

60…供給口

92…切り換え弁

段

10 102…電圧/電流モニタ

チ

106…燃料供給弁

…空気供給弁

112、114、116…温度センサ

センサ

42…供給機構

46…燃焼室

49…グローブ

ラグ

52…空気ノズル

66…流路室

100…制御手

段

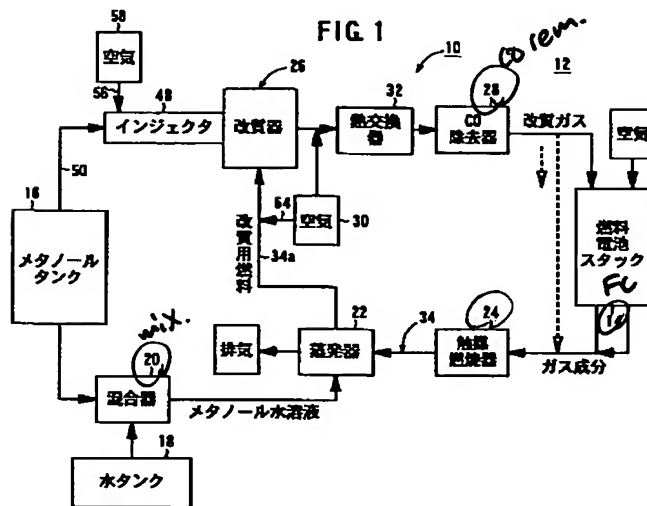
104…スイッチ

108、110

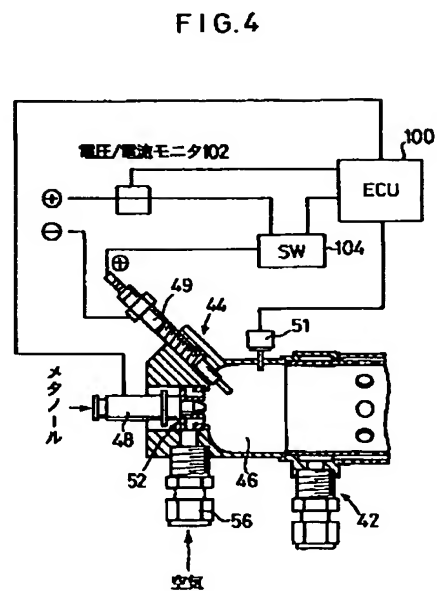
108、110

120…COセンサ

【図1】

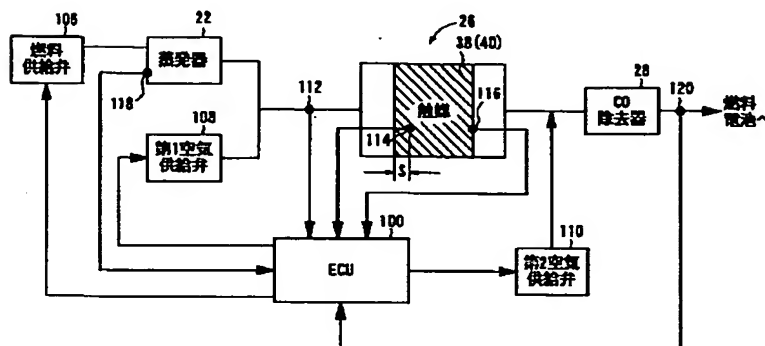


【図4】

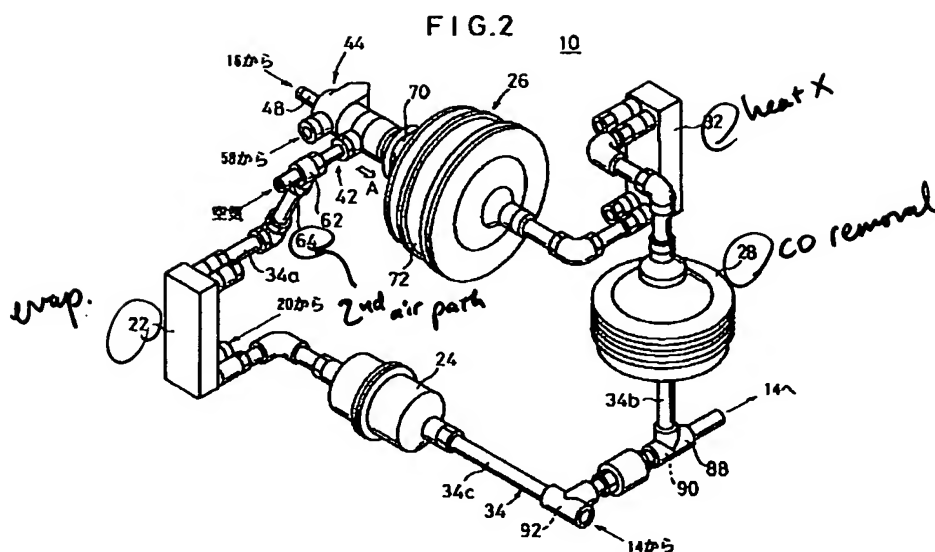


【図5】

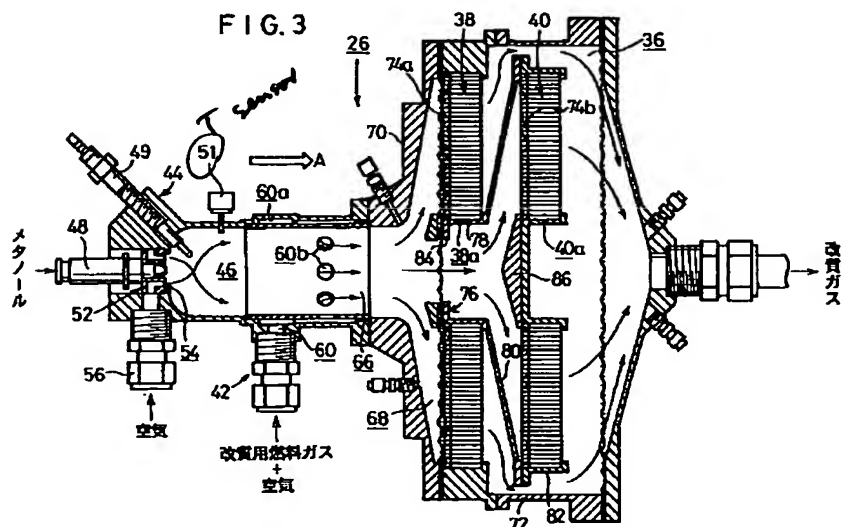
FIG. 5



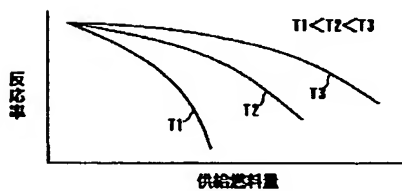
【図2】



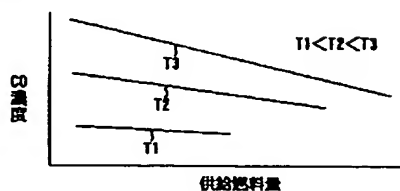
【図3】



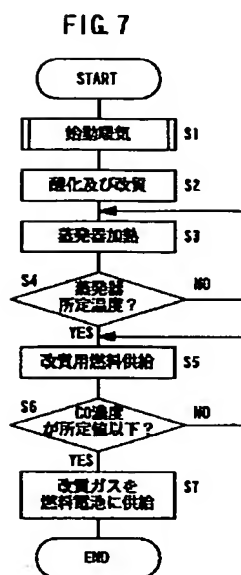
【☒11】



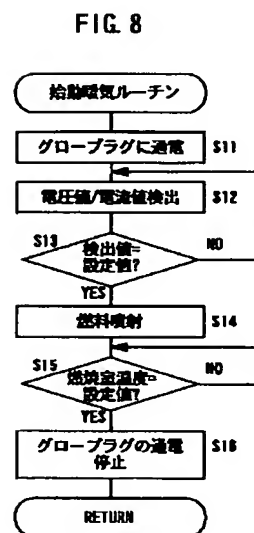
【图12】



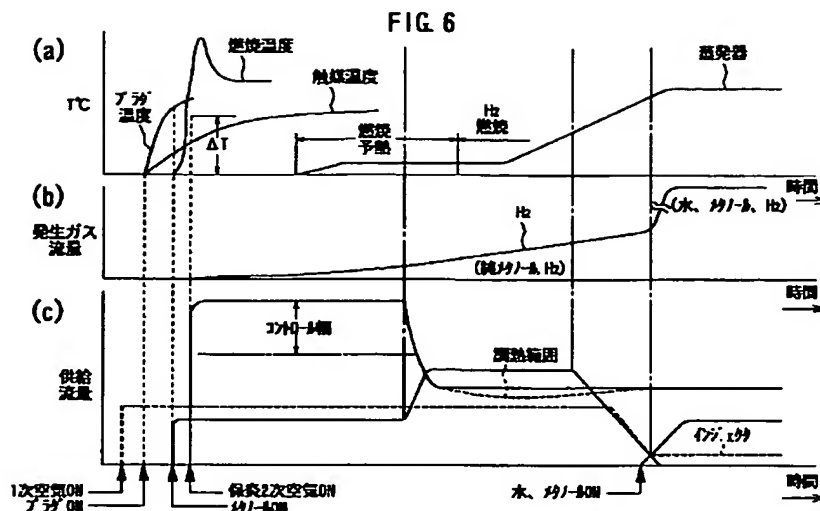
【图7】



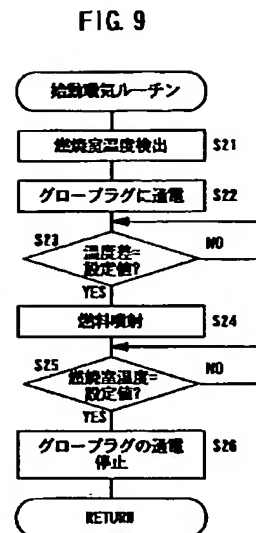
【図8】



【図6】

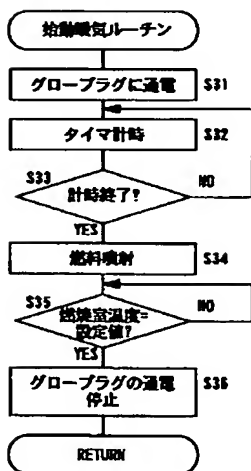


【図9】



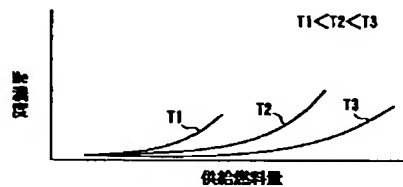
【図10】

FIG 10



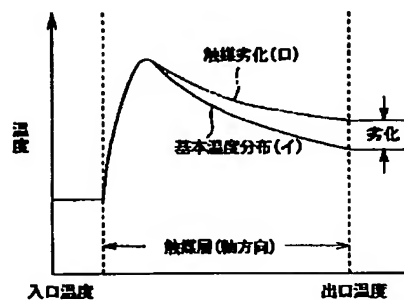
【図13】

FIG 13



【図14】

FIG 14



フロントページの続き

(72)発明者 小谷 保紀  
埼玉県和光市中央1-4-1 株式会社本  
田技術研究所内

(72)発明者 隅 英明  
埼玉県和光市中央1-4-1 株式会社本  
田技術研究所内

Fターム(参考) 4G040 EA03 EA07 EB12 EB43  
5H027 AA06 BA01 BA09 BA10 BA16  
KK00 KK01 KK31 KK41 KK42  
KK51 MM09 MM13 MM26

## \* NOTICES \*

JPO and NCIPi are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

---

**CLAIMS**


---

[Claim(s)]

[Claim 1] The reforming room where it is the fuel reformer which generates the reformed gas which contains hydrogen by reforming the fuel for reforming containing a hydrocarbon, and the reforming catalyst section is arranged, The combustion mechanism for starting for burning by the combustion chamber which is open for free passage in said reforming room, and supplying the combustion gas for heating to said reforming catalyst section directly at the time of starting of said fuel reformer, A preparation and said combustion mechanism for starting are a fuel reformer characterized by having a fuel-injection means to supply the fuel for heating to said combustion chamber, and the plug for ignition to which said fuel for heating supplied to said combustion chamber is lit.

[Claim 2] A detection means to detect the electrical-potential-difference value and/or current value which are given to said plug for ignition in a fuel reformer according to claim 1, When the sensor which detects the temperature or the pressure of said combustion chamber, and the detection value by said detection means reach the set point, while driving said fuel-injection means and making said combustion chamber inject said fuel for heating The fuel reformer characterized by having the control means which stops the energization to said plug for ignition when the detection value by said sensor reaches the set point.

[Claim 3] The fuel reformer characterized by to have the control means which stops the energization to said plug for ignition when the detection temperature by said temperature sensor reaches the set point while driving said fuel-injection means and making said combustion chamber inject said fuel for heating, when the temperature gradient of said combustion chamber before and behind the temperature sensor which detects the temperature of said combustion chamber, and the energization to said plug for ignition reaches the set point in a fuel reformer according to claim 1.

[Claim 4] The temperature sensor which detects the temperature of said combustion chamber in a fuel reformer according to claim 1, When a timer is operated after energizing to said plug for ignition, and said timer clocks only predetermined time amount, while driving said fuel-injection means and making said combustion chamber inject said fuel for heating The fuel reformer characterized by having the control means which stops the energization to said plug for ignition when the detection temperature by said temperature sensor reaches the set point.

[Claim 5] The fuel reformer characterized by having the bypass passage for being prepared in the way of the supply way which supplies said reformed gas generated at said reforming room to a fuel cell in a fuel reformer according to claim 1 free [ a switch ] through a valve, and supplying said reformed gas to a catalyzed combustion machine.

[Claim 6] The fuel reformer characterized by to have the control means which presumes the carbon monoxide concentration in said reformed gas, or lipobiolite-ized hydrogen concentration based on a temperature detection means detect the reformed-gas outlet temperature of the reforming catalyst section which is the fuel reformer which generates the reformed gas which contains hydrogen by reforming the fuel for reforming containing a hydrocarbon, and is arranged at a reforming room, and said reformed-gas outlet temperature and the amount of supply of said fuel for reforming introduced into said reforming room.

[Claim 7] It is the control approach of the fuel reformer which generates the reformed gas which contains hydrogen by reforming the fuel for reforming containing a hydrocarbon. While heating the process which the combustion gas for heating is directly supplied [ process ] to the reforming catalyst section arranged at the reforming room, and raises the temperature of said reforming catalyst section at the time of starting of said fuel reformer, and said reforming catalyst section to predetermined temperature The process which supplies said reformed gas generated in said reforming catalyst section to a combustor, and heats an evaporator, By introducing said fuel for reforming and water into this evaporator, and supplying said fuel for reforming, a steam, and oxygen to said reforming catalyst section, when said evaporator reaches predetermined temperature The process which is made to perform oxidation reaction and a reforming reaction to coincidence, and generates said reformed gas, The control approach of the fuel reformer characterized by having the process which detects the carbon monoxide concentration in said reformed gas generated in said reforming catalyst section, and the process which supplies said reformed gas to a fuel cell when said said detected carbon monoxide concentration becomes below a predetermined value.

[Claim 8] The control approach of the fuel reformer characterized by burning in the control approach according to claim 7 by the combustion chamber which is open for free passage in said reforming room, and supplying said combustion gas for heating to said reforming catalyst section directly at the time of starting.

[Claim 9] By supplying the fuel for reforming which contains a hydrocarbon in the reforming catalyst section arranged at the reforming room, and reforming this fuel for reforming The process energized to the plug for ignition which is the control approach of the fuel reformer which generates the reformed gas containing hydrogen, and has been arranged in the combustion chamber which is open for free passage in said reforming room based on the trigger signal of said fuel reformer, The process which detects the electrical-potential-difference value and/or current value which are given to said plug for ignition, The process which detects the temperature or the pressure of said combustion chamber, and the process which makes said combustion chamber inject said fuel for heating when said detected electrical-potential-difference value and/or said current value reach the set point, The control approach of the fuel reformer characterized by having the process which stops the energization to said plug for ignition when said detected temperature or said pressure reaches the set point.

[Claim 10] By supplying the fuel for reforming which contains a hydrocarbon in the reforming catalyst section arranged at the reforming room, and reforming this fuel for reforming The process which detects the temperature of the combustion chamber which is the control approach of the fuel reformer which generates the reformed gas containing hydrogen, and is open for free passage in said reforming room based on the trigger signal of said fuel reformer, The process energized to the plug for ignition arranged in said combustion chamber, and

the process which detects the temperature gradient of said combustion chamber before and behind the energization to said plug for ignition, The control approach of the fuel reformer characterized by having the process which makes said combustion chamber inject the fuel for heating when the temperature gradient of said combustion chamber reaches the set point, and the process which stops the energization to said plug for ignition when the temperature of said combustion chamber reaches the set point.

[Claim 11] By supplying the fuel for reforming which contains a hydrocarbon in the reforming catalyst section arranged at the reforming room, and reforming this fuel for reforming The process energized to the plug for ignition which is the control approach of the fuel reformer which generates the reformed gas containing hydrogen, and has been arranged in the combustion chamber which is open for free passage in said reforming room based on the trigger signal of said fuel reformer, The process which detects the temperature of said combustion chamber, and the process which operates a timer after energizing to said plug for ignition, The control approach of the fuel reformer characterized by having the process which makes said combustion chamber inject the fuel for heating when said timer clocks only predetermined time amount, and the process which stops the energization to said plug for ignition when the temperature of said combustion chamber reaches the set point.

[Claim 12] The process which detects the reformed gas outlet temperature of the reforming catalyst section which is the control approach of the fuel reformer which generates the reformed gas which contains hydrogen by reforming the fuel for reforming containing a hydrocarbon, and is arranged at a reforming room, The control approach of the fuel reformer characterized by having the process which presumes the carbon monoxide concentration in said reformed gas, or lipobiolite-ized hydrogen concentration based on said reformed gas outlet temperature and the amount of supply of said fuel for reforming introduced into said reforming room.

---

[Translation done.]



## \*NOTICES\*

JPO and NCIPi are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

## DETAILED DESCRIPTION

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Field of the Invention] This invention relates to the fuel reformer which generates the reformed gas containing hydrogen, and its control approach by reforming the fuel for reforming containing a hydrocarbon.

[0002]

[Description of the Prior Art] The fuel cell stack constituted by pinching and carrying out two or more laminations of the fuel cell cel which opposite-\*(ed) the anode lateral electrode and the cathode lateral electrode on both sides of the electrolyte, for example, the solid-state polyelectrolyte film, with a separator is developed, and it is being put in practical use by various applications.

[0003] By supplying oxidizer gas (air) to a cathode lateral electrode, said hydrogen gas ionizes this kind of fuel cell stack, and it flows the inside of the solid-state polyelectrolyte film, and it is constituted so that electrical energy may be obtained to the exterior of a fuel cell by this, while supplying the reformed gas (fuel gas) containing a hydrocarbon, for example, the hydrogen generated by steam reforming of a methanol water solution, to an anode lateral electrode.

[0004] By the way, in the fuel reformer which reforms a methanol water solution and generates reformed gas, the carbon monoxide (CO) and the unreacted hydrocarbon component are intermingled in the reformed gas component generated in a pre-heating process from the time of starting. If the reformed gas intermingled in this CO is supplied to a fuel cell stack, CO poisoning of a catalyst will be caused in an anode lateral electrode.

[0005] Then, the fuel cell system currently indicated by JP,8-293312,A in order to cancel the above-mentioned fault is known. If it has deviated from the allowable-temperature range or permission CO concentration in case this fuel cell has the detection temperature of a temperature sensor and CO sensor, or detection CO concentration in a steady state when there is a fuel cell at the time of starting, it consists of this conventional technique so that the hydeogen-rich gas which switches the supply place of the hydeogen-rich gas from a reformer to a burner from this fuel cell, and contains high-concentration CO by the passage switch bulb may not be supplied to a fuel cell.

[0006]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] However, with the above-mentioned conventional technique, a methanol and water are supplied in a reformer and the reformed gas containing hydrogen gas is generated by carrying out steam reforming of this methanol. This steam-reforming reaction is endothermic reaction, and the temperature suitable for the reforming reaction of a methanol is equipped with the burner for heating this reformer at the reformer.

[0007] However, since the reformer is heated with the burner to predetermined temperature (for example, about 250 degrees C - 300 degrees C), the problem that pre-heating operation which heats said reformer to the temperature suitable for a reforming reaction takes long duration fairly is pointed out.

[0008] This invention solves this kind of problem, and it is an easy configuration and aims at offering the fuel reformer which can shorten pre-heating operation time at once, and its control approach.

[0009] Moreover, this invention aims at offering the fuel reformer which can perform pre-heating operation efficiently and economically, and its control approach.

[0010] This invention is an easy and cheap configuration, and aims at offering the fuel reformer which can detect the reaction condition in the reforming catalyst section certainly, and its control approach further again.

[0011]

[Means for Solving the Problem] In the fuel reformer concerning this invention, the combustion mechanism for starting is equipped with a fuel-injection means to supply the fuel for heating to a combustion chamber, and the plug for ignition to which said fuel for heating supplied to this combustion chamber is lit, and the combustion gas for heating is directly supplied to the reforming catalyst section arranged at the reforming room which combustion is performed by said combustion chamber and is open for free passage to said combustion chamber at the time of starting of a fuel reformer. For this reason, the temperature of the reforming catalyst section can be certainly heated to the temperature suitable for the reforming reaction of the fuel for reforming in a short time, and pre-heating operation time is shortened at once.

[0012] Moreover, by the control approach of the fuel reformer concerning this invention, the combustion gas for heating is directly supplied to the reforming catalyst section arranged after starting of a fuel reformer at the reforming room, and this reforming catalyst section is heated by predetermined temperature. In that case, the reformed gas generated in the reforming catalyst section is supplied to a combustor, and an evaporator is heated through this combustor.

[0013] When an evaporator reaches predetermined temperature, the gas which the fuel for reforming and water are supplied to this evaporator, and contains said fuel for reforming, a steam, and oxygen in the reforming catalyst section, for example, air, is supplied, and oxidation reaction and a reforming reaction are performed to coincidence in this reforming catalyst section. It is the so-called autothermal method, and while  $\text{CH}_3\text{OH} + 3/2\text{O}_2 \rightarrow \text{CO}_2 + 2\text{H}_2\text{O}$  (exothermic reaction) and  $\text{CH}_3\text{OH} + \text{H}_2\text{O} \rightarrow \text{CO}_2 + 3\text{H}_2$  (endothermic reaction) are carried out by coincidence, heat transfer structure complicated in a reforming machine specifically becomes unnecessary and the configuration of the whole equipment is simplified, a quick pre-heating process is carried out.

[0014] Subsequently, when the carbon monoxide concentration in the reformed gas generated in the reforming catalyst section is detected and this carbon monoxide concentration becomes below a predetermined value, reformed gas is supplied to a fuel cell. Therefore, various

kinds of reformed gas analysis sensors etc. become unnecessary, it can presume correctly that pre-heating operation was completed only using the carbon monoxide concentration sensor, and low-cost-izing and improvement in dependability are achieved easily. Here, the simplification of a configuration and shortening of pre-heating operation time are attained by burning by the combustion chamber which is open for free passage in a reforming room, and supplying the combustion gas for heating to the reforming catalyst section directly.

[0015] Energization is started by the plug for ignition arranged in the combustion chamber which is open for free passage in a reforming room based on a trigger signal, and when the electrical-potential-difference value and/or current value which are given to this plug reach a predetermined value, said combustion chamber is made to inject the fuel for heating by the fuel reformer concerning this invention, and its control approach further again. For this reason, when plug temperature reaches the temperature for ignition, the fuel for heating can be injected, and it becomes possible to secure the certainty of ignition. On the other hand, when the temperature or the pressure of a combustion chamber reaches a predetermined value, the energization to a plug is stopped. Thereby, while reducing power consumption effectively, the durable heat of a plug can be raised effectively.

[0016] Moreover, when a timer is operated after energizing [ the process which makes said combustion chamber inject the fuel for heating when the temperature gradient of the combustion chamber before and behind the energization to a plug is detected and this temperature gradient reaches the set point, or ] to a plug, and this timer clocks only predetermined time amount, it has the process which makes said combustion chamber inject the fuel for heating. For this reason, while securing the certainty of ignition, reduction of power consumption is attained effectively.

[0017] By the fuel reformer concerning this invention, and its control approach, the carbon monoxide concentration in the reformed gas generated in said reforming catalyst section or lipobiolite-ized hydrogen concentration is presumed further again based on the reformed gas outlet temperature of the reforming catalyst section arranged at a reforming room, and the amount of supply of the fuel for reforming introduced into this reforming room. Thereby, CO concentration detecting element and a methanol concentration detecting element become unnecessary, and with an easy and cheap configuration, the reaction condition in the reforming catalyst section is grasped certainly, and can supply desired reformed gas to a fuel cell.

[0018]

[Embodiment of the Invention] Drawing 1 is the outline configuration explanatory view of the fuel cell system 12 incorporating the fuel reformer 10 concerning the 1st operation gestalt of this invention. The air as oxidizer gas is supplied and the fuel cell system 12 is equipped with the fuel cell stack 14 which generates electricity by the hydrogen gas in said reformed gas, and the oxygen in said air while reformed gas is supplied from the fuel reformer 10 which generates hydrogen gas by reforming the fuel for reforming containing a hydrocarbon, and this fuel reformer 10. As a hydrocarbon, a methanol, natural gas, or methane is usable.

[0019] The methanol tank 16 by which the fuel reformer 10 stores a hydrocarbon, for example, a methanol, The water tank 18 which stores the generation water discharged from the fuel cell stack 14, The mixer 20 which the methanol and water of the specified quantity are supplied from said methanol tank 16 and said water tank 18, respectively, and mixes a methanol water solution, The evaporator 22 for evaporating the methanol water solution supplied from said mixer 20, The reforming machine 26 which generates the reformed gas which reforms the methanol (henceforth the fuel gas for reforming) with which the steam introduced into said evaporator 22 from the catalyzed combustion machine 24 which supplies evaporation heat, and said evaporator 22 was mixed, and contains hydrogen gas, It has CO removal machine 28 from which the carbon monoxide in the reformed gas drawn from this reforming machine 26 is removed.

[0020] While air is supplied from the air supply machine 30, respectively, the heat exchanger 32 for reducing the temperature of reformed gas between the reforming machine 26 and said CO removal machine 28 is arranged at the catalyzed combustion machine 24 and CO removal machine 28. An evaporator 22, the reforming machine 26, a heat exchanger 32, CO removal machine 28, and the catalyzed combustion machine 24 are connected through a shell 34, and constitute the circulating flow way (refer to drawing 2 ).

[0021] The 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40 by which the reforming machine 26 is arranged at the reforming room 36 as shown in drawing 3 , The feeder style 42 for supplying the fuel gas for reforming, and oxygen content gas, for example, air, to said reforming room 36, and making oxidation reaction and a reforming reaction perform to coincidence by said 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40, It is arranged at the upstream of said 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40, and has the combustion mechanism 44 for starting for supplying the combustion gas for heating to these 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40 directly at the time of starting.

[0022] As shown in drawing 2 and drawing 3 , a combustion mechanism 44 Correspond to the reforming machine 26 at the upstream of a gas flow direction (the direction of arrow-head A), and it is prepared in the said alignment with the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40. This combustion mechanism 44 is equipped with the temperature sensor (or pressure sensor), the injector (fuel-injection means) 48 for supplying a fuel, for example, a methanol, to a combustion chamber 46, and the plug 49 for ignition, for example, a glow plug, 51 which detects the temperature in said combustion chamber 46 (or pressure). This injector 48 is connected to the methanol tank 16 through the fuel path 50 (refer to drawing 1 ).

[0023] As shown in drawing 3 , the perimeter of a tip side of an injector 48 was equipped with the air nozzle 52, and this air nozzle 52 provides in it two or more air derivation openings 54 which carry out opening toward a combustion chamber 46. Each injection direction and include angle are set up so that the air derivation opening 54 may generate a vortex in a combustion chamber 46. The air nozzle 52 is connected to the air supply machine 58 or the air supply machine 30 through the 1st air path 56 (refer to drawing 1 ).

[0024] As shown in drawing 2 and drawing 3 , the feeder style 42 is arranged at the downstream of a combustion mechanism 44, and provides the feed hopper 60 to which it is the lower stream of a river of an injector 48, and it is located in the upstream of the 1st reforming catalyst bed 38, and the fuel gas for reforming, the object for oxidation, and the air for dilution are mixed or supplied independently. The joint section 62 prepared in the way of this path 34a is opening a feed hopper 60 for free passage through the 2nd air path 64 in the air supply vessel 30 while it is connected with an evaporator 22 through path 34a. A feed hopper 60 is open for free passage in the passage room 66 from two or more inlet 60b through duplex Kabeuchi's \*\* 60a.

[0025] The reforming machine 26 is equipped with the diffuser section 70 which forms the gas supply passage 68 of the cone configuration whose diameter is expanded toward the 1st reforming catalyst bed 38 from the passage room 66 which is open for free passage to a combustion chamber 46. The cylindrical shape-like case 72 \*\*\*\*s in the edge whose diameter the diffuser section 70 expands, the stop is carried out to it, and it is equipped with the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40 in this case 72.

[0026] The 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40 consist of copper or a zinc system catalyst, and are set as anchor ring-like honeycomb structure. The gas flow direction in the reforming room 36 (the direction of arrow-head A) and each direction of a field of each honeycomb catalyst cross at right angles, and is arranged in parallel. The 1st and 2nd straightening vanes 74a and 74b are fixed to the

upstream of the gas flow direction of the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40.

[0027] Among the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40, the gas-passageway means forming 76 is arranged so that the fuel gas for reforming may pass only either. It consists of plates made from SUS, and the gas-passageway means forming 76 is formed in the tubed part 78 inserted in central cavernous partial 38a of the 1st reforming catalyst bed 38, the cone section 80 whose diameter is expanded along a gas flow direction from the edge of this tubed part 78, and the edge of this cone section 80 in one, and has the wrap ring section 82 for the periphery of the 2nd reforming catalyst bed 40. With the gas flow direction, the diaphragm configuration section 84 whose diameter is reduced toward hard flow \*\*\*\*s the tip of a tubed part 78, and stop immobilization is carried out. Central cavernous partial 40a of the 2nd reforming catalyst bed 40 is equipped with the covering member 86 of a cone configuration.

[0028] As shown in drawing 2, the cross valve 90 is formed in the joint section 88 of the paths 34b and 34c which constitute a shell 34 and are connected to the catalyzed combustion machine 24 and CO removal machine 28, respectively, and this cross valve 90 can be freely switched to the location which opens for free passage the location which opens said path 34b and fuel cell stack 14 for free passage, and this path 34b and path 34c. The diverter valve 92 for introducing into this path 34c gas, such as unreacted hydrogen gas in the discharge component discharged from the fuel cell stack 14, is arranged.

[0029] As shown in drawing 4, the electrical potential difference / current monitor 102 (detection means) which detects the electrical-potential-difference value and/or current value which are given to a glow plug 49 are connected to the control means 100, such as ECU which controls the fuel cell system 12. The switch 104 for carrying out ON/OFF of the energization to a glow plug 49 is connected to a control means 100.

[0030] As shown in drawing 5, the fuel-supply valve 106 for adjusting the amount of supply of the methanol water solution supplied to an evaporator 22 to a control means 100, the 1st air supply valve 108 for adjusting the amount of supply of the air for oxidation supplied to the feeder style 42, and the 2nd air supply valve 110 for adjusting the amount of supply of the air supplied to CO removal machine 28 are connected.

[0031] The 1st temperature sensor 112 is arranged at the passage room 66, only the predetermined distance S is located in the inner direction from the end face of the upstream (gas inlet side) of the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40 in the reforming room 36, and the 2nd temperature sensor 114 for catalyst peak temperature detection is formed. The 3rd temperature sensor 116 which detects reformed gas outlet temperature is formed in the edge of the downstream (reformed gas outlet side) of these 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40. The 1st thru/or the 3rd temperature sensor 112, 114, and 116 have inputted each detection temperature into the control means 100. The 4th temperature sensor 118 which detects the temperature of an evaporator 22, and the CO sensor 120 which detects CO concentration in the reformed gas drawn from CO removal machine 28 are connected to the control means 100.

[0032] Thus, actuation of the fuel reformer 10 constituted is explained below based on the flow chart shown in the timing diagram shown in (a) - (c) of drawing 6, and drawing 7 in connection with the control approach concerning the 1st operation gestalt of this invention.

[0033] First, at the time of starting of the fuel reformer 10, the paths 34b and 34c of a shell 34 are in the fuel cell stack 14 and a cut off state as starting pre-heating mode (step S1). Then, air (primary air) is supplied to a combustion chamber 46 through an air nozzle 52 from the 1st air path 56 which constitutes a combustion mechanism 44, and a vortex is formed in this combustion chamber 46. In this condition, it energizes to a glow plug 49 (the inside of drawing 8, step S11), and the monitor of the current value of this glow plug 49 is carried out by the electrical potential difference / current monitor 102 (step S12).

[0034] Here, if it calculates by the control means 100 that the current value by which the monitor was carried out reached \*\*5% - \*\*10% of the maximum current value to the supplied electrical potential difference (inside of step S13, YES), the methanol in the methanol tank 16 will be injected in a combustion chamber 46 through an injector 48 (step S14). While a methanol is sprayed into a combustion chamber 46 through an injector 48, a vortex with air acts on this methanol, and atomization and diffusion-izing of said methanol are attained. For this reason, in a combustion chamber 46, a methanol burns under a heating operation of a glow plug 49, and flame stabilizing is made only in this combustion chamber 46.

[0035] Subsequently, the air for flame stabilizing (secondary air) is introduced into the passage room 66 through each inlet 60b from the 2nd air path 64. Therefore, air is mixed by the hot combustion gas generated in a combustion chamber 46, and where the temperature of this combustion gas is adjusted, said fuel gas is directly supplied to the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40 arranged at the reforming room 36.

[0036] On the other hand, if the temperature of a combustion chamber 46 is detected by the temperature sensor 51 and the temperature in this combustion chamber 46 reaches the set point (inside of step S14, YES), it will progress to step S15, a switch 104 will operate, and energization of a glow plug 49 will be stopped. Thereby, a starting pre-heating routine is completed.

[0037] Furthermore, while the amount of the methanol sprayed into a combustion chamber 46 is increased from an injector 48, oxidation reaction and a reforming reaction are performed to coincidence by the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40 by the water generated by combustion in said combustion chamber 46, this methanol, and the air introduced from the 2nd air path 64 (step S2).  $\text{CH}_3\text{OH} + 3/2\text{O}_2 \rightarrow \text{CO}_2 + 2\text{H}_2\text{O}$  (exothermic reaction) and  $\text{CH}_3\text{OH} + \text{H}_2\text{O} \rightarrow \text{CO}_2 + 3\text{H}_2$  (endothermic reaction) are carried out by coincidence, and, specifically, the reformed gas containing hydrogen is generated from the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40.

[0038] This reformed gas is sent to the catalyzed combustion machine 24 through CO removal machine 28 from the reforming machine 26, it is used as a fuel, and an evaporator 22 is heated (step S3). Next, it progresses to step S4, and if it is detected that the temperature of an evaporator 22 reached laying temperature with the 4th temperature sensor 118, the methanol water solution with which water was mixed with the methanol with the predetermined mixing ratio through the mixer 20 will be supplied to an evaporator 22.

[0039] While being supplied in the reforming machine 26 from each inlet 60b which a methanol water solution steam-izes through the catalyzed combustion machine 24, is mixed with the air sent from the 2nd air path 64, and constitutes the feeder style 42 from an evaporator 22, supply of the methanol from an injector 48 to into a combustion chamber 46 is suspended. Here, air is continued and supplied to the combustion chamber 46 side through the air nozzle 52 from the 1st air path 56, and the temperature of injector 48 the very thing is reduced effectively.

[0040] After mixing with the air injected from the 2nd air path 64 and introducing the fuel gas for reforming supplied to path 34a from the evaporator 22 in the reforming machine 26, it is sent to the diffuser section 70 side. In this diffuser section 70, the fuel gas for reforming containing a methanol water solution, a steam, and oxygen is sent to the 2nd reforming catalyst bed 40 through the interior of a body 78 where other parts were fitted in central cavernous partial 38a of this 1st reforming catalyst bed 38, while that part is sent to the 1st reforming catalyst bed 38 along the gas supply passage 68 (step S5).

[0041] In the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40, the fuel reforming reaction which is the oxidation reaction and endothermic

reaction which are exothermic reaction is performed to coincidence by the methanol, the steam, and oxygen in the fuel gas for reforming. It is not necessary to use complicated heat transfer structure into the reforming machine 26 by this, and the structure of this reforming machine 26 whole can be simplified at once. And since heat required for a reforming reaction is supplied by the exothermic reaction in the reforming machine 26, the responsibility over a load effect is good and it becomes possible to generate the reformed gas containing hydrogen gas efficiently.

[0042] The reformed gas generated through the reformed gas and the 2nd reforming catalyst bed 40 which were generated through the 1st reforming catalyst bed 38 is introduced into a heat exchanger 32, and is cooled by predetermined temperature. Subsequently, after reformed gas is introduced into CO removal machine 28 and reaction removal of CO in said this reformed gas is carried out alternatively, CO concentration in said reformed gas is measured through the CO sensor 120. And if measured CO concentration is judged to be below a predetermined value (inside of step S6, YES), it will progress to step S7, a cross valve 90 will be replaced, and said reformed gas will be supplied to the fuel cell stack 14.

[0043] In this case, with the 1st operation gestalt, while the combustion chamber 46 is open for free passage in the reforming room 36 and a methanol is injected by this combustion chamber 46 as a fuel for heating, it energizes to a glow plug 49 and said methanol burns in said combustion chamber 46. Since the combustion gas generated by this combustion is directly supplied to the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40 in the reforming room 36, said 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40 are heated quickly, and the effectiveness that pre-heating operation at the time of starting of the fuel reformer 10 is carried out extremely for a short time is acquired.

[0044] Furthermore, with the 1st operation gestalt, after the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40 reach predetermined temperature by the combustion gas generated in a combustion chamber 46, the reformed gas generated from these 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40 is supplied to the catalyzed combustion machine 24, and is used as a fuel which heats an evaporator 22. For this reason, while using a fuel efficiently, pre-heating operation will be carried out further for a short time.

[0045] Moreover, after the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40 and an evaporator 22 reach predetermined temperature, the fuel for reforming is supplied and reformed gas is generated. And when CO concentration in reformed gas becomes below a predetermined value, said reformed gas is supplied to the fuel cell stack 14. Therefore, it can judge certainly that desired reformed gas was generated with an easy configuration, a dead work including pre-heating operation of the fuel reformer 10 whole is carried out efficiently at once, and the effectiveness that the generation of electrical energy by the fuel cell stack 14 is performed efficiently is acquired.

[0046] Moreover, with the 1st operation gestalt, after energizing to a glow plug 49 in starting pre-heating operation, the monitor of the current value of said glow plug 49 is carried out through an electrical potential difference / current monitor 102. Then, when it results in the temperature which a glow plug 49 can light, the methanol which is a fuel is injected by the combustion chamber 46 from an injector 48. For this reason, there is an advantage that the certainty of ignition in a combustion chamber 46 is securable.

[0047] And when it is detected that the temperature in a combustion chamber 46 turned into temperature in which self-flame stabilizing is possible through the temperature sensor 51, energization of a glow plug 49 is stopped. The effectiveness of becoming possible to stop self-generation of heat of the glow plug 49 after ignition, to raise the durable heat of said glow plug 49 effectively, and to use it over a long period of time by this is acquired.

[0048] Drawing 9 is the flow chart of the starting pre-heating routine explaining the control approach concerning the 2nd operation gestalt of this invention.

[0049] With this 2nd operation gestalt, while a temperature sensor 51 detects the temperature of a combustion chamber 46 based on a trigger signal (step S21), energization is performed to a glow plug 49 (step S22). A control means 100 carries out the monitor of the temperature in the combustion chamber 46 by the temperature sensor 51, and computes temperature-gradient  $\Delta T$  of said combustion chamber 46 before and behind the energization to a glow plug 49.

[0050] If it is judged that this temperature-gradient  $\Delta T$  is beyond predetermined more than temperature, for example, 50 degrees C, (inside of step S23, YES), it will progress to step S24 and the methanol which is a fuel will be injected by the combustion chamber 46 from an injector 48. And in case the temperature in a combustion chamber 46 results in laying temperature (inside of step S25, YES), energization of a glow plug 49 is stopped (step S26).

[0051] Thus, with the 2nd operation gestalt, when temperature-gradient  $\Delta T$  in the combustion chamber 46 before and behind energization of a glow plug 49 is calculated and this temperature-gradient  $\Delta T$  becomes more than laying temperature (i.e., when it becomes the temperature which can be lit), the methanol is injected from the injector 48 to said combustion chamber 46. Therefore, the same effectiveness as the 1st operation gestalt is acquired -- the certainty of ignition in a combustion chamber 46 is securable.

[0052] Drawing 10 is the flow chart of the starting pre-heating routine which enforces the control approach concerning the 3rd operation gestalt of this invention.

[0053] With this 3rd operation gestalt, after energizing to a glow plug 49 (step S31), the time check of the timer of a control means 100 is started (step S32). And after a timer clocks only predetermined time amount (inside of step S33, YES), a methanol is injected through an injector 48 in a combustion chamber 46 (step S34). Furthermore, when the temperature in a combustion chamber 46 turns into more than laying temperature (inside of step S35, YES), it progresses to a step ST 36 and energization of a glow plug 49 is stopped.

[0054] Thus, with the 3rd operation gestalt, after the time amount which calculated by the control means 100 based on the environmental condition etc., and was beforehand set up after energizing to a glow plug 49 passes, the methanol which is a fuel is injected by the combustion chamber 46. For this reason, the effectiveness that the certainty of ignition in a combustion chamber 46 is secured as well as the 1st and 2nd operation gestalten is acquired.

[0055] Next, with reference to drawing 5, the control approach concerning the 4th operation gestalt of this invention is explained.

[0056] With this 4th operation gestalt, CO concentration or residual methanol concentration in reformed gas is presumed not using the CO sensor 120 from the temperature in the reforming machine 26, the reformed gas outlet temperature of the catalyst bed detected especially by the 3rd temperature sensor 116, and the amount of supply of the fuel gas for reforming supplied to this reforming machine 26.

[0057] Here, the conditions shown in drawing 11, drawing 12, and drawing 13 are beforehand recorded on the control means 100 as a map. The relation between the amount of supply of the fuel gas for reforming and methanol conversion is shown by drawing 11 about the reformed gas outlet temperature T1 and T2 and T3 ( $T1 < T2 < T3$ ). The relation between the amount of supply of the fuel gas for reforming and CO concentration is shown in drawing 12 for every reformed gas outlet temperature T1 and T2 and T3. Furthermore, the relation between the amount of supply of the fuel gas for reforming and residual methanol concentration is shown in drawing 13 for every reformed gas outlet temperature T1 and T2 and T3.

[0058] So, with the 4th operation gestalt, as shown in drawing 5, while the amount of supply of the methanol water solution with which a

control means 100 controls the fuel-supply valve 106, and is supplied to an evaporator 22 is set up, the 1st air supply valve 108 is driven and the amount of supply of the air for oxidation is set up. Thereby, in the reforming machine 26, the fuel gas for reforming and the air for oxidation of the specified quantity are introduced, respectively, and reformed gas is generated through the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40.

[0059] In the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40, by supplying a methanol water solution, a steam, and oxygen, oxidation reaction and a reforming reaction are performed to coincidence, and the reaction by so-called autothermal one is carried out. For this reason, the temperature of the fuel gas for reforming is inputted into a control means 100 through the 1st temperature sensor 112, catalyst peak temperature is inputted into it through the 2nd temperature sensor 114, and reformed gas outlet temperature is further inputted into it through the 3rd temperature sensor 116.

[0060] In a control means 100, CO concentration (or residual methanol concentration) is presumed based on the amount of supply of the fuel gas for reforming set up beforehand, and the reformed gas outlet temperature detected by the 3rd temperature sensor 116. And based on this CO concentration, the air content supplied to CO removal machine 28 is adjusted by the 2nd air supply valve 110.

[0061] Thus, with the 4th operation gestalt, CO concentration in reformed gas (or residual methanol concentration) is presumed based on the amount of supply of the fuel gas for reforming supplied to the reforming machine 26 not using various sensors, such as CO sensor, and the reformed gas outlet temperature within this reforming machine 26. Expensive sensors can be made unnecessary by this, the condition of a reforming reaction can be grasped economically and correctly, and the effectiveness that desired reformed gas can be certainly supplied to the fuel cell stack 14 is acquired.

[0062] By the way, performance degradation may be caused by using continuously the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40. For this reason, in a control means 100, the processing which amends the reformed gas outlet temperature in the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40 in which catalyst precision deteriorated is made. That is, as shown in drawing 14, inlet temperature of a catalyst bed is fixed, if temperature-distribution (b) when basic temperature-distribution (b) and the catalyst engine performance deteriorate is compared, in order that reacting weight may decrease with degradation of the catalyst engine performance, by temperature-distribution (b), the amount of endoergic decreases and reactant gas outlet temperature is high.

[0063] Therefore, based on the amount of supply, the catalyst inlet temperature, supply air volume, and reformed gas outlet temperature of the fuel gas for reforming, extent of degradation is presumed certainly and the amount of degradation of the 1st and 2nd reforming catalyst beds 38 and 40 is judged based on this result. Thereby, correlation can be beforehand taken in the relation between the amount of degradation, and temperature, and there is an advantage that CO concentration in reformed gas (or residual methanol concentration) is correctly detectable according to extent of degradation.

[0064]

[Effect of the Invention] In the fuel reformer concerning this invention, the combustion mechanism for starting is equipped with a fuel-injection means to supply the fuel for heating to a combustion chamber, and the plug for ignition to which this fuel for heating is lit, burns by said combustion chamber, and supplies combustion gas to the reforming catalyst section arranged at the reforming room which is open for free passage to this combustion chamber at the time of starting directly. For this reason, the reforming catalyst section can be heated quickly and easily, and pre-heating operation at the time of starting is carried out at once for a short time.

[0065] Moreover, while supplying a heating medium to the reforming catalyst section and carrying out the temperature up of this reforming catalyst section, the generated reformed gas is supplied to a combustor, an evaporator is heated, and oxidation reaction and a reforming reaction are made to perform to coincidence through the fuel for reforming, a steam, and oxygen by the control approach of the fuel reformer concerning this invention. Subsequently, when the carbon monoxide concentration in the reformed gas generated in the reforming catalyst section is detected and it becomes below a predetermined value about this carbon monoxide concentration, said reformed gas is supplied to a fuel cell. For this reason, while being able to obtain desired reformed gas efficiently and certainly, it becomes possible to shorten effectively the pre-heating operation time at the time of starting.

[0066] When said combustion chamber detects having resulted in predetermined temperature further again while injecting the fuel for heating to this combustion chamber, when it detects that this plug for ignition resulted in optimum temperature after energizing by the fuel reformer concerning this invention, and its control approach to the plug for ignition arranged in the combustion chamber at the time of starting, the energization to said plug for ignition is stopped. Therefore, while securing the certainty of ignition by the combustion chamber, the durable heat of the plug for ignition can be raised effectively.

[0067] Furthermore, by the control approach of the fuel reformer concerning this invention, the carbon monoxide concentration in said reformed gas or lipobiolite-ized hydrogen concentration is presumed based on the reformed gas outlet temperature of the reforming catalyst section arranged at a reforming room, and the amount of supply of the fuel for reforming introduced into said reforming room. Thereby, various sensors become unnecessary and it becomes possible to presume the component in reformed gas certainly and to obtain desired reformed gas with an easy and economical configuration.

---

[Translation done.]